

追加的措置に関する参考意見  
(自然エネルギーに関して)

1 自然エネルギー政策の強化の必要性

- ① 時期的な必要性：新エネ利用特措法の見直しが2005年度に開始、目標値の改訂が2006年度と法に規定されており、地球温暖化防止大綱のスケジュールとズレがあること
- ② 法目的からの必要性：現行の新エネ利用特措法の法目的では「もって環境の保全に寄与」とあるだけで、地球温暖化防止との関連が明確ではない（具体的には、廃棄物発電のバイオマス部分をカウントしたとしても、それが全体でも個別にもCO2削減とどうリンクするかは明確ではない）
- ③ 状況的な必要性：
  - ✓ 新エネ利用特措法は必ずしも自然エネルギー促進につながっていない
  - ✓ 新エネ利用特措法は自然エネルギー電力のみが対象であり、熱や輸送燃料の普及政策ではないこと

【参考】日本の新エネ RPS 法の現状

- 法施行後1年目の結果
  - 2003年度の基準利用量：32.8億kW時
    - ✓ 登録された新エネ発電量：40.1億kW時(バンキング7.8億kW時～24%余り)
    - ✓ 94%が一般電気事業者
  - RPSクレジット価格：2円/kW時～11円/kW時
    - ✓ 実態は圧倒的な買い手市場の元での買い叩き
- 低迷する自然エネルギー市場
  - 風力の「入札・抽選」
    - ✓ 2003年度：合計33万kWの枠に204万kWが応募
    - ✓ 2004年度：九電の5万kWの枠に70万kWが応募
  - 金融市場からの期待ゼロの「新エネルギー市場」

2 自然エネルギー政策の位置づけ

- ① ドイツ型の固定価格制(FIT)や英国・日本型の固定枠制(R0, RPSなど)は、従来からの「直接規制」ではなく「市場を活用した第2世代の環境政策」であること
  - ✓ 「command & control」と「市場活用型」とは峻別する必要がある
- ② ドイツ型の固定価格制(FIT)や英国・日本型の固定枠制(R0, RPSなど)の経済インセンティブを与える正当化の論理
  - ✓ 一般に、固定枠制や固定価格制などの「市場プル型」の自然エネルギー市場の育成政策が正当化される根拠は、次の2つとされている。
    - (1) 環境影響などの外部費用（現在の市場では勘案・評価されないコスト）を市場に内部化すること、及び
    - (2) 初期需要の拡大によってコストの引き下げを行うこと
  - ✓ すなわち、「外部費用の内部化」だけでは十分な価格競争力を持たない自然エネルギーに関しては、初期需要の創出・拡大によるコストの引き下げこそがこれらの

制度のもっとも重要なポイントである。

- ✓ なお、固定枠制では、(1)外部費用と無関係に価格が決まること、(2)「枠」を設けてもそれを確実に達成できないために初期需要創出の効果が弱いこと（例えば、英国・スウェーデンではペナルティ（罰金）を支払った分だけ未達成が容認されてしまうために目標値の半分程度を達成するのみと見込まれており、(3)異なる自然エネルギーの電源に対して「一物一価」で取引することは上の2つの根拠をどちらも満たさない、などの問題がある。他方、固定価格制は初期需要の創出という政策目的に沿って価格設定をすることができるために、社会的な説明において透明性が高く、正当化しやすい。

③ 他の参考資料

自然エネルギーの価格優遇に関わる制度分類

		直接的な手段		間接的手段
		価格	割当	
規制・法的	初期投資	初期投資補助 優遇税制	・競争入札 (英国 NFFO、日本)	・環境税
	発電量	固定優遇価格 (ドイツ型)	・一定枠割当 (RPS) (英国、日本)	
市場・自主的	初期投資	グリーン料金		・自主協定
	発電量	自主取決め(余剰電力購入メニュー) ¥グリーン料金、グリーン証書	・グリーン証書	

<sup>1</sup> Haas et.al., "promotion strategies for electricity from renewable energy sources in EU countries", Institute of Energy Economics, Vienna University of Technology, June 2000

自然エネルギー政策の新たなパラダイム

(「技術プッシュ・補助金型」から「市場プル・ランニング支援型」へ)

古いパラダイム	新しいパラダイム
技術アセスメント	市場アセスメント
機器供給に焦点	応用、付加価値、ユーザーに焦点
経済的な競争力	政策、ファイナンス、制度・組織、社会的に見た必要性和解決策
技術的な実証	ビジネス/ファイナンスモデル、制度・組織的なモデル、社会的モデル
初期の補助金	健全な市場形成のためのリスクとコストを分担
計画と政策的な意図	経験、結果、教訓
コスト低減	市場における競争力

(出所) Martinot, E., Chaurey, A., Lew, D., Moreira, J.B. & Wamukonya, N. 2002. Renewable Energy Markets in Developing Countries. Annual Review of Energy and the Environment. 27: 309-348.